

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2019-165960(P2019-165960A)

【公開日】令和1年10月3日(2019.10.3)

【年通号数】公開・登録公報2019-040

【出願番号】特願2018-55683(P2018-55683)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和3年6月9日(2021.6.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可動役物装置を備えた遊技機において、

前記可動役物装置は、

固定ベースに支持されて第1位置と第2位置との間を移動可能な支持ベースと、

前記支持ベースに回転可能に支持されると共に、互いに回転自在に連結された1対の可動体を含む可動演出部と、

前記1対の可動体のうち互いの連結部分から離れた部位同士の距離を変化させることで、前記可動演出部を、前記1対の可動体が直線状に配置される第1状態と、前記1対の可動体が折れ線状に配置される第2状態と、に変化させる可変機構と、を有し、

前記可変機構は、

前記固定ベースに設けられて、前記可動体の回転軸に略平行であって前記支持ベースの移動方向に対して傾斜する傾斜ガイド面と、

前記1対の可動体のうち少なくとも一方の可動体に設けられ、前記支持ベースが移動したときに前記傾斜ガイド面に摺接して該一方の可動体をその回転軸を中心にして回転させる摺接部と、を有する、遊技機。

【請求項2】

前記可動役物装置は、前記可動演出部を1対備え、

1対の前記可動演出部は、前記第1状態で略平行に配置され、前記第1状態から前記第2状態へ変化するときに、互いに近づくように折れ曲がる、請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

1対の前記可動演出部は、前記第1状態において表示部を縁取るように配置される、請求項2に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

第1の手段は、可動役物装置を備えた遊技機において、前記可動役物装置は、固定ベー

スに支持されて第1位置と第2位置との間を移動可能な支持ベースと、前記支持ベースに回転可能に支持されると共に、互いに回転自在に連結された1対の可動体を含む可動演出部と、前記1対の可動体のうち互いの連結部分から離れた部位同士の距離を変化させることで、前記可動演出部を、前記1対の可動体が直線状に配置される第1状態と、前記1対の可動体が折れ線状に配置される第2状態と、に変化させる可変機構と、を有し、前記可変機構は、前記固定ベースに設けられて、前記可動体の回転軸に略平行であって前記支持ベースの移動方向に対して傾斜する傾斜ガイド面と、前記1対の可動体のうち少なくとも一方の可動体に設けられ、前記支持ベースが移動したときに前記傾斜ガイド面に摺接して該一方の可動体をその回転軸を中心にして回転させる摺接部と、を有する、遊技機である。